



青い鳥

社会福祉法人
東京ヘレン・ケラー協会
Established in 1950

発行人 石原 尚樹
編集人 石原 尚樹
発行 広報委員会

新理事長に石原常務理事

東京ヘレン・ケラー協会は5月27日、理事会・評議員会を開き平成27年度事業報告及び

決算を承認した。また、三浦拓也理事長の退任と石原尚樹常務理事の理事長就任が承認された(6月12日付)。

新理事長には横山晴夫NPO法人共生ネットワーク理事長、楯

香津美青山学院常務理事、渡部聡毎日新聞東京社会事業団常務理事が就任した。任期は2年。なお三浦理事長が兼務するヘレン・ケラー学院長職は8月1日から石原新理事長が引き継ぐ。

協会に課された使命に思う

理事長就任にあたって 石原 尚樹

今回はからずも三浦拓也理事長の後任として理事長職をお引き受けることになりました。誠に身の引き締まる思いがしています。

ヘレン・ケラー協会は1950年に設立された視覚障害者総合支援施設です。以来60

有余年、曲折はあったものの、多くの方の評価を得られたのは当協会に関わってこられた多くの先人、関係者の皆様のご尽力のたまものであり、また多くの職員の現場での奮闘があればこそのことです。

そのような協会で陣頭に立つことは並大抵な覚悟がなくては乗り切れないと思っています。

ところで、協会の経営状況は決して順調とはいえませんが、特にヘレン・ケラー学院

は年を追って学生数が減少し、年々赤字が累積してしまが急務であることは間違いありません。歯を食いしばって学院の赤字を減らすようがんばるしかありません。

一方、点字図書館はほぼ順調に運営されていますが、急速に変化するITの流れに対応するには、新たな知識と技術の習得が必要になってくるでしょう。職員の研鑽が大事です。

また出版所は、以前の赤字体質から脱却して軌道に乗りました。点字出版業界は視覚障害者の点字離れに伴って構造的な不況下にあることも事実であり、十分に注意を払いながら新しい事業展開が必要でしょう。

当協会の名誉総裁であるヘレン・ケラー女史の教えを上げるとき、私なりに三つ思い浮かびます。自らの重い障害を克服した不屈の精神。思いやりと深い慈愛の心。学ぶ心や探究心といった真摯な姿勢。この私なりの思いを協会に課された使命として心にとどめ、多くの方に伝えていくことも大事な役割であると考えています。

退任にあたって

三浦 拓也

「点字図書館はすでに独り立ちのメドがついた。点字出版所は経営改善中期計画の2年目、安定軌道に乗るのにもう一步。学院は学生数を平成24年度には50人のラインまで引き上げるための再生5年計画をスタートさせ、再生の道筋はつけた」と前任の藤元理事長からバトンを引き継いでから6年たちました。この

間ご支援下さった皆様にご感謝申し上げます。

この6年の間に、点字図書館はネットワーク図書館「サピエ」の基幹図書館として利用者から高い評価を得て、日本でも有数の点字図書館になりました。また、点字出版所も黒字回復を成し遂げ、経営を安定基調に乗せました。これらのことは、前理事長が道筋をつけてくれたのとそれぞれの施設長の強力なリーダーシップによるものです。しかるに私が学院長を兼務していたヘレン・ケラー学院はこの間、学生数を増やすどころか大幅に減らし続けて、平成27年度末には25人になってしまいました(現在は学院職員の努力もあって、この2年は入学生も増え、34人まで回復しました)。前理事長のかかげた再生計画にはほど遠い状況です。どうすれば学生数は増えるか、確固たる展望が開けないままです。

石原新理事長には重荷を負わせてしまいました。が、リーダーシップを発揮していただき、学院再生を成し遂げていただきたいと願っております。学院を応援してくださる皆様のご協力を心からお願ひする次第です。

古い空調設備を更新

点字出版所事務所 近隣騒音もこれで解消

5月28、29の両日、毎日新聞社早稲田別館1階にある点字出版所事務所の空調設備の改修工事を行った。この工事を行うきっかけになったのは、今年1月中旬の雪が降った朝に、室外機が凍結してつららが出来たことからだった。それに気付かず出勤した職員が暖房を入れたため、ファンがたららに当たって激しい騒音が出たと、隣接マンションの住人から苦情が出た。

室外機のファンが天を向いた形状であったため起こったことで、「室外機に屋根をつけれ！」との声も聞こえてきた。が、調べてみるとこの空調設備はなんと30年以上も前の1983年に設置されたもの。動いているのが不思議なほど老朽化していたのだ。それに追い打ちをかけるように、この春には早稲田別館の大家である毎日新聞社からこの空調設備は、フロンガスを使用しているの



平成25年に「フロン回収破壊法」保管を依頼されが改正され、フロンガス使用の業務用空調設備については日常的に行う簡易点検を四半期に1回、専門業者による定期点検を3年に1回行うよう強く指導されていた。

そこでこれ以上老朽化した空調設備に投資するのは無駄金になるとの判断で、今回の改修工事を行うようになったのである。

工事は写真のように、床にはブルーシートを敷き、ビニールで仕切ったり、机等にかぶせたりして、万全の体制で行われた。

中庭に水田???

保管を依頼され管理中

協会中庭にミニ水田が出現——
5月中旬の夕方、トラックに積まれた約90坪四方の木型パレット

3個と稲の苗が運び込まれた。実はこのパレットはJR高田馬場駅と陸前高田市の共同プロジェクトとして5月13日に同駅前で開かれた田植えイベントの後始末だ。イベント終了後のパレットの保管場所に困った同駅長が「お預かり願えませんか」と頼みにき

いたため、喜んで引き受けた。運んできたパレットはまばらな植え付けだったため、学院生と職員がさらにきちんと植え直し、その後ポウフラ対策にメダカも飼った。秋には収穫祭が行われるという。それまで大切に管理して、おいしいお米に育て上げたい。

ボランティア養成講習会

点訳／音訳／「ランプの灯」で

点字図書館は昨年初めて実施して評判の良かった「ランプの灯」ボランティア養成講習会を今年も実施することになった。昨年は手探りの講習だったが、今回は短期講習が可能と判断。全5回コースで前半は視覚障害者理解とガイドの基本を学び、後半2回は点字の基礎を学ぶことにした。今年の受講者は6人。5月17日にスタートしたとたんに仲間意識が芽生えて全員講習を終えた。

引き続き点訳ボランティア養成講習会も6月21日からスタート。3年ぶりの開講には9人が受講した。

一方、音訳ボランティア養成講習会は2年連続で実施。今年も8人が5月から3月までの長期講習に通っている。

ガイドの訓練に取り組む「ランプの灯」受講生



平成27年度事業報告

【ヘレン・ケラー学院】

長期的な学生数の減少傾向が続くなか、平成27年度は前年度に比べ7名も多い11名が入学したが、平成25、26年度の2年続けての急激な減少による影響は平成27年度も続いた。卒業・修了した学生の方が新入生より多く、年度当初ですでに、前年度より1名減の27名であり、その後も中退や休学があって、年度末では在学者25名（在籍数は26名）になった。学生数の減少は直接収入に響き、厳しい経営状況が続いた。

8月29日のサポートグッズフェアと同時開催した「感謝デー」は、日頃臨床実習をしている3、4年生が中心となり、5年生と来年度から臨床実習をする2年生も含めた14人が2人の先生の指導の下で、施術した。

【点字図書館】

長年の願いであった多目的室を館内の一角を利用して設置することが出来た。これは26年度からの継続事業計画であったが、資金の目処が立たずに断念していた。27年度は助成先を一般財団法人日本メイスン財団に求め、総経費の7割程度の助

成を受けて完成したものである。また、身近にいる視覚障害者への理解と直接的な支援を進めるために、新たなボランティアグループ「ランプの灯」を立ち上げたのも大きな成果だった。

【点字出版所】

統一地方選挙の選挙公報点字版・音声版を受託・作成した。文科省著作、平成28年度点字教科書「歴史」を受託・製作した。人事では、4人の退職者が出たため、契約職員、派遣職員を採用した。

盲人用具センターは、ヘレン・ケラー学院の学生を対象としたダイジー録音再生機や点字器などの学習用機材の紹介や、機器の修理など様々な対応に努めた。

海外盲人交流事業は、昨年4月に発生した「ネパール地震」に際して、緊急救援募金活動を開始、集まった募金をネパール盲人福祉協会（NAWB）を通じて、同国の視覚障害者（児）のために役立てた。9月4日にはNAWBのタパ会長らを日本に招待して当協会ホールで「ネパール地震報告会」を開催した。

平成28年度事業計画

【ヘレン・ケラー学院】

年によって多少の増減はあるが、アマ指師、はり師、きゅう師を目指す視覚障害者は、長期的に見れば減少傾向が続いている。ヘレン・ケラー学院においても同様に学生数は長期減少傾向にあり、平成27年度の学生総数は10年前に比べると約3分の2である。28年度の新入生は14名（高等課程12、専門課程2）が入学手続きをしたが、29年度の学生確保に向けては、前年度の募集活動を受けて、委託生枠（30名）を満たしていない東京都、さらに委託契約している埼玉県、さいたま市を重点地域として、他校の募集活動などの情報を集め、相談者への継続的な声かけなど地道な努力を積み重ねるなど、きめ細かな募集活動をするとともに、委託生枠の拡大、新たな委託先の開拓に向けた努力をしなければならない。

【点字図書館】

視覚障害者を理解し、サポートするボランティアグループ「ランプの灯ボランティア」を平成27年度からスタートさせた。この取り組みをさらに拡充するため28年度も引き続き養成講習会を開催する。懸案だった多目的ルームが平成27年度に完成したが、さらに館内を働きやすいレイアウトに

変更し、職場環境の改善を図る。現在2台ある点訳図書製作用点字プリンターはいずれも長期間の使用で故障がちである。特にそのうちの1台は27年度に修理をしたが、業者から「次の修理は無理」と言われている。出来るだけ早い時期に助成先を求め新規購入する。

【点字出版所】

日本盲人福祉委員会視覚障害者選挙情報支援プロジェクト（日盲委選挙プロジェクト）の一員として、今夏に執行される参議院議員選挙公報点字版と同音声版を作製する。また、昨年度受注した文部科学省著作点字教科書中学部「歴史」の後期分を作製する。

点字出版の事業でもっとも気をつかうのは、これらの選挙公報と教科書の製作業務である。点字版は墨字版が作製された後にしか作業にとりかかることができないため製作期間が短く、しかも厳格であるためだ。さらに、これらの作業は毎年あるわけではないので、業務繁忙期に合わせて人員を配置することは難しい。そこで業務をできるだけ細分化・分業化して、業務の偏りをできるだけ是正し、一部の職員に過大な負担をかけないように努める。

資金収支計算書
(自)平成27年 4月 1日 (至)平成28年 3月31日

法人名：社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支				
収 入				
視覚障害者情報提供施設事業収入	206,960,000	207,961,137	△ 1,001,137	
学生生徒納付金収入	31,509,000	31,510,800	△ 1,800	
その他の事業収入	5,018,000	5,018,000	0	
借入金利息補助金収入	0	0	0	
経常経費寄附金収入	8,881,000	8,897,309	△ 16,309	
受取利息配当金収入	129,000	130,811	△ 1,811	
その他の収入	1,633,000	1,528,835	104,165	
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	
事業活動収入計(1)	254,130,000	255,046,892	△ 916,892	
支 出				
人件費支出	220,009,000	219,481,106	527,894	
事業費支出	33,070,000	32,826,050	243,950	
事務費支出	25,063,000	24,775,440	287,560	
支払利息支出	0	0	0	
その他の支出	0	0	0	
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	
事業活動支出計(2)	278,142,000	277,082,596	1,059,404	
事業活動資金収支差額(3=1-2)	△ 24,012,000	△ 22,035,704	△ 1,976,296	
施設整備等による収支				
収 入				
施設整備等補助金収入	1,148,000	1,148,313	△ 313	
施設整備等寄附金収入	0	0	0	
設備資金借入金収入	0	0	0	
固定資産売却収入	0	0	0	
その他の施設整備等による収入	0	0	0	
施設整備等収入計(4)	1,148,000	1,148,313	△ 313	
支 出				
設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	
固定資産取得支出	4,704,000	4,704,119	△ 119	
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	
その他の施設整備等による支出	0	0	0	
施設整備等支出計(5)	4,704,000	4,704,119	△ 119	
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	△ 3,556,000	△ 3,555,806	△ 194	
その他の活動による収支				
収 入				
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	
長期運営資金借入金収入	0	0	0	
長期貸付金回収収入	0	0	0	
投資有価証券売却収入	0	0	0	
積立資産取崩収入	39,177,000	39,176,258	742	
その他の活動による収入	0	0	0	
その他の活動収入計(7)	39,177,000	39,176,258	742	
支 出				
長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	
長期貸付金支出	0	0	0	
投資有価証券取得支出	0	0	0	
積立資産支出	12,987,000	12,986,570	430	
その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計(8)	12,987,000	12,986,570	430	
その他の活動資金収支差額(9=7-8)	26,190,000	26,189,688	312	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	△ 1,378,000	598,178	△ 1,976,178	
前期末支払資金残高(12)	80,193,369	80,193,369	0	
当期末支払資金残高(11+12)	78,815,369	80,791,547	△ 1,976,178	

事業活動計算書
(自)平成27年 4月 1日 (至)平成28年 3月31日

法人名：社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部			
取 益			
視覚障害者情報提供施設事業収益	207,961,137	198,776,287	9,184,850
学生生徒納付金収益	31,510,800	32,912,900	△ 1,402,100
その他の事業収益	5,018,000	7,015,000	△ 1,997,000
経常経費寄附金収益	8,897,309	5,869,014	3,028,295
その他の収益	0	0	0
サービス活動収益計(1)	253,387,246	244,573,201	8,814,045
費 用			
人件費	209,129,915	204,882,168	4,247,747
事業費	33,519,898	32,686,569	833,329
事務費	24,668,278	23,770,565	897,713
減価償却費	12,059,937	12,334,022	△ 274,085
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 4,396,359	△ 4,844,235	447,876
徴収不能額	0	0	0
徴収不能引当金繰入	0	0	0
その他の費用	0	0	0
サービス活動費用計(2)	274,981,669	268,829,089	6,152,580
サービス活動増減差額(3=1-2)	△ 21,594,423	△ 24,255,888	2,661,465
サービス活動外増減の部			
取 益			
借入金利息補助金収益	0	0	0
受取利息配当金収益	130,811	226,392	△ 95,581
有価証券評価益	0	0	0
有価証券売却益	0	0	0
投資有価証券評価益	0	0	0
投資有価証券売却益	0	0	0
その他のサービス活動外収益	1,528,835	4,363,512	△ 2,834,677
サービス活動外収益計(4)	1,659,646	4,589,904	△ 2,930,258
費 用			
支払利息	0	0	0
有価証券評価損	0	0	0
有価証券売却損	0	0	0
投資有価証券評価損	0	0	0
投資有価証券売却損	0	0	0
その他のサービス活動外費用	0	0	0
サービス活動外費用計(5)	0	0	0
サービス活動外増減差額(6=4-5)	1,659,646	4,589,904	△ 2,930,258
経常増減差額(7=3+6)	△ 19,934,777	△ 19,665,984	△ 268,793
特別増減の部			
取 益			
施設整備等補助金収益	1,148,313	0	1,148,313
施設整備等寄附金収益	0	0	0
長期運営資金借入金元金償還寄附金収益	0	0	0
固定資産受贈額	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0
その他の特別収益	0	0	0
特別収益計(8)	1,148,313	0	1,148,313
費 用			
基本金組入額	0	0	0
資産評価損	0	0	0
固定資産売却損・処分損	1	16	△ 15
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△ 1	△ 10	9
国庫補助金等特別積立金積立額	1,148,313	0	1,148,313
災害損失	0	0	0
その他の特別損失	0	66,000	△ 66,000
特別費用計(9)	1,148,313	66,006	1,082,307
特別増減差額(10=8-9)	0	△ 66,006	66,006
当期活動増減差額(11=7+10)	△ 19,934,777	△ 19,731,990	△ 202,787
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額(12)	279,103,653	293,752,643	△ 14,648,990
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	259,168,876	274,020,653	△ 14,851,777
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	26,554,688	16,083,000	10,471,688
その他の積立金積立額(16)	9,000,000	11,000,000	△ 2,000,000
次期繰越活動増減差額(17=13+14+15-16)	276,723,564	279,103,653	△ 2,380,089

27年度 ご寄付者名簿

★賛助会員(敬称略)

【本部扱い】

大藏達也、参天製薬株式会社

【ヘレン・ケラー学院扱い】

新井定一、石田元治、大井川和子、大島千恵子、小林稔、駒沢金平、佐藤千恵子、佐野一貴、澤田昌憲、篠原隆幸、鈴木八重子、高山米子、月見潤、橋本三郎、福井愛子、松本大、森脇キヨ、矢作俊一、山崎登志夫

【点字図書館扱い】

青木弘、青木素子、榎木吉彦、内田一夫、江良昭雄、落合長利、片山恭子、加藤則夫、菊地寛子、小池芳一、小林真紀、斎藤紀年夫、佐子田信夫、塩田和夫、鈴木由紀、高田房子、楯香津美、谷合淑二郎、田村洋一、戸田三郎、戸沼京子、田島静枝、畑千尋、福田恒男、畠山千代子、正木研、松崎仁紀、松田千富美、宮本牧子、森輝明、山内経、山田剛

★一般寄付(敬称略)

【本部扱い】

稲山輝機、梅野茂、杉田安男、長谷川航、柳崎秀夫、吉田厚子、加藤直之、山田茂雄、参天製薬株式会社、毎日新聞東京社会事業団

【ヘレン・ケラー学院扱い】

小栗誠夫、秋本勇、阿部恵一、石川晶夫、乾法行、今泉新治、植田員弘、牛窪多喜男、生沼馨、大岩妙子、小野塚耕吉、小幡亮、加瀬峯夫、金井定春、金子宏、神田敏男、木村修子、歸山良子、黒岩康孝、黒澤絵美、小谷政夫、駒沢金平、坂ノ上秋子、鹿濱秋信、菅田亜希、鈴木房江、大澤孝一、平光子、高倉益夫、田中茂、玉住博、当津純一、徳田好美、中村文孝、根本

博行、福島義範、牧野武雄、松本大、松本典子、森田正春、山口智永子、山本隆、横山勝幸、吉岡諒、渡辺武松、毎日新聞東京社会事業団

【点字図書館扱い】

青木素子、秋山由美子、朝木けい子、安藤靖雄、磯崎治子、市角誠、猪股栄二、岩野英夫、浦田実、大石文雄、大須賀瑞夫、大室幸一、奥山紀助、小澤洋平、柿沼正良、笠井実、神谷美穂、北川文恵、北岸保郎、九曜文子、経塚良未、小柳紀男、金倫子、酒井町子、清水奈美江、志村富雄、白木幸一、須藤憲一、鈴木由紀、竹間文子、田澤芳行、田中たえ子、田中秀臣、谷口旭、塚村文昭、塚本弘毅、土居義則、戸倉昇、東大附属図書館有志、二瓶幸子、橋本三郎、畑秀美、早川雅彦、原田秀夫、東山寛、人見三義、平野邦雄、平林寿美子、藤田ひろ子、古川雄、藤根輝男、福島ふさ子、福田拓馬、藤ヶ崎宏、星野博子、本間みさ子、前田律子、松崎仁紀、松本大、溝口和子、村上工、室岡見致、目黒聰子、森明彦、森岡恒夫、諸岡和彦、矢部萬寿子、山口義雄、山崎洋子、柳川春己、油布勝美、渡辺武松、毎日新聞東京社会事業団

【点字出版所扱い】

栗原作衛、杉田安男、田中暁子、畠田武彦、松本大、エムコマース株式会社

【海外盲人交流事業事務局扱い】

青木貞子、青山マリ子、朝妻洋子、芦田賀寿夫、渥美資子、在田一則、安藤生、飯田光江、池田令子、石田隆雄、石原幸栄、石原尚樹、磯公美子、磯部久子、伊藤眞一郎、今泉新治、岩屋芳夫、植竹清孝、上野伊律子、上村小夜子、生形てる子、遠藤利三、大島幸夫、大西正広、大橋東洋彦、大橋由昌、岡山美恵子、小野塚耕吉、貝元利江、

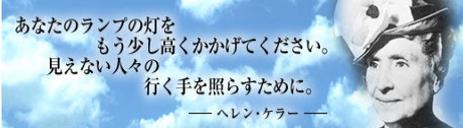
梶原剛、勝山良三、加藤万利子、金森なを、金田敏子、荻安達男、川口卓朗、川島玉子、川尻哲夫、川田孝子、菊井維正、木塚泰弘、楠本睦子、黒澤和子、小泉周二、小出隆家、肥塚隆、肥塚美和子、古賀副武、小島純子、小島亮、後藤晴子、小長谷厚子、小林良子、小森愛子、斎藤惇生、酒井久江、坂入隆、坂入操、坂口廣光、坂齊勝男、坂本泉、佐古井貞行、佐々木信、佐々木玲子、指田忠司、佐藤達夫、柴田光俊、志村洋、白井雅人、白木幸一、菅原温子、杉沢宏、杉田安男、鈴木俊勝、鈴木雅夫、鈴木洋子、須原ひとみ、染矢朝子、高橋恵子、高橋秀治、多久島耕治、竹下亘、田中茂、田中徹二、田中正和、谷内正史、田畑美智子、田村和凡、当津純一、当津順子、当山啓、徳淵洋三、土橋喜人、鳥原信一、鳥山由子、中井謹次郎、長岡英司、中原章雄、中村勝彦、中村保信、生井良一、成澤千賀子、新阜義弘、根本厚志、根本弘道、野津虎雄、野村寛、橋爪ナナ、林紘子、原田美男、平野正隆、平野モモコ、福井哲也、譜久島和美、富久縞博、藤本貴子、藤原和子、本間昭雄、前山博、間下勉、増野幸子、松井繁、松浦健三、松下信雄、松本大、三浦拓也、御本正、三宅正太郎、宮崎勇、宮下浩子、宮本千絵子、目黒伸一、茂木幹央、望月優、森栄司、森川精子、森川政之衛、森山朝正、山岡三治、山田あき子、山田真弓、吉田暁子、吉田重子、米田昌徳、渡辺勇喜三、東京都立八王子盲学校有志、有限会社大本印刷、音や金時、小林動物病院、古和釜幼稚園、シティ・ライツ、有限会社信和ハウス、株式会社高垣商店、ネパール料理エベレストキッチン、三好稲荷閣満福寺、有限会社ヤマオー事務機、毎日新聞東京社会事業団

模範となる学生に贈られる一色賞を受賞した吉田隆一さん（左）



12年ぶりに一色賞 ヘレン・ケラー 学院卒業式

3月15日、平成27年度卒業式・修了式・第3学期終業式を行った。高等課程4人、専門課程2人の計6人に卒業証書を、高等課程あん摩マッサージ指圧科修了生1人に修了証書を授与した。続いて、1年間の学業成績優秀者に贈る優等賞を10人に、努力賞は2人に授与した。また同窓会長賞は小林貴大さん（専門課程）、学業が優秀で学院生の模範となる学生に贈られる一色賞は、12年ぶりに吉田隆一さん（高等課程）が選ばれ、それぞれ賞状と記念品が贈られた。学院長の式辞、在校生による送辞につづき、卒業生を代表して木村祥子さん（高等課程）が「学院で得たものはとても大きい。努力を重ねて社会貢献できるよう前を向いて歩いていきます」と答辞を述べ、会場から大きな拍手に送られて閉式となった。



社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会

〒169-0072

東京都新宿区大久保3-14-20

本部、ヘレン・ケラー学院

電話 03(3200)0525

FAX 03(3200)0608

点字図書館

電話 03(3200)0987

FAX 03(3200)0982

点字出版所、盲人用具センター、 海外盲人交流事業事務局

東京都新宿区大久保3-14-4

電話 03(3200)1310

FAX 03(3200)2582

ホームページもご覧ください。
<http://www.thka.jp/>

13人の新しい仲間

平成28年度入学式

4月6日、平成28年度入学式・第1学期始業式を行い、高等課程11人、専門課程2人の計13人の新入生を迎え、学生総数は34人になった。新入生代表の金光良洪さんが「国家試験を取得するために一生懸命勉学に励みます」と誓いの言葉を述べた＝写真。三浦拓也学院長は「所期の目的を達成する決意を持ち続けてほしい」と激励した。

国家試験は厳しい結果に

第24回国家試験は平成28年2月27、28の両日に行われた。あん摩マッサージ指圧師に既卒者含め8人が受験し、3人が合格。はり師、きゅう師は既卒者含め7人が受験し2人が合格。全体合格率が40%と極めて低い結果となった。